

AWARDS

OIOS 2003 GRAND CHAMPION

Den. speciosum 'Asuka'



OKINAWA INTERNATIONAL ORCHID SHOW 2004

沖縄国際洋蘭博覧会

VOL.18 2004

Guidelines for Applications

実施要綱

沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会組織（委員名簿）

役職	氏名	所 属	役職	氏名	所 属
実行委員長	山田 勝巳	(財)海洋博覧会記念公園管理財団 理事長	委 員	徳本 行雄	沖縄県蘭協会 会長
副委員長	比嘉 茂政	沖縄県副知事（土木建築部担当副知事）	"	赤嶺 慶信	沖縄県農業協同組合 常務理事
副委員長	山口 修	内閣府沖縄総合事務局次長	"	外間 勝喜	沖縄県花卉園芸農業協同組合 代表理事組合長
委 員	溝内 俊一	内閣府沖縄総合事務局開発建設部長	"	荷川取 健	(社) 沖縄県造園建設業協会 会長
"	前川 泰一郎	内閣府沖縄総合事務局農林水産部長	"	赤嶺 羊楽	沖縄県華道連盟会長
"	諸見 武三	沖縄県農林水産部長	"	翁長 悦子	(社) 日本フラワーデザイナー協会 沖縄県支部長
"	宜名真盛男	沖縄県商工労働部 観光リゾート局長	"	池原 昌彦	(社) 日本生花通信配達協会 沖縄地区幹事
"	安慶名正行	沖縄県土木建築部長	"	唐澤 耕司	理学博士
"	山内 彰	沖縄県教育委員会 教育長	"	太田 守風	(財)海洋博覧会記念公園管理財団 常務理事
"	饒波 正之	(財) 沖縄観光コンベンションビューロー会長	事務局 長	花城 良廣	(財)海洋博覧会記念公園管理財団 事務局長
"	大場 勝	日本洋蘭農業協同組合 組合長	事務局	"	(財)海洋博覧会記念公園管理財団 植物課長

■実施団体■

1. 主催

沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会

2. 共催

沖縄県、沖縄県教育委員会、(財)海洋博覧会記念公園管理財団、(財)沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄県蘭協会、沖縄県農業協同組合、沖縄県花卉園芸農業協同組合、(社)沖縄県造園建設業協会、日本洋蘭農業協同組合、(社)日本フラワーデザイナー協会、(社)日本生花通信配達協会、沖縄県華道連盟

3. 後援

〈行政〉内閣府、外務省、農林水産省、国土交通省、文化庁

〈団体〉日本蘭協会、全日本蘭協会、蘭友会、(社)日本造園建設業協会、(社)ランドスケープコンサルタンツ協会、(財)日本花普及センター、(社)日本家庭園芸普及協会、(社)日本植物園協会、沖縄県市長会、沖縄県町村会、沖縄県商工会議所連合会、沖縄県商工会連合会、(社)沖縄県経営者協会、沖縄県緑化種苗協同組合、日本旅行業協会沖縄県支部、(社)沖縄県バス協会、(社)全国旅行業協会沖縄県支部、沖縄県ホテル旅館環境衛生同業組合、(社)沖縄県タクシー協会、沖縄県個人タクシー事業協同組合、那覇個人タクシー事業協同組合

〈マスコミ〉NHK沖縄放送局、琉球放送(株)、沖縄テレビ放送(株)、琉球朝日放送(株)、(株)ラジオ沖縄、(株)エフエム沖縄、(株)琉球新報社、(有)沖縄観光速報社、沖縄パシフィックプレス社

4. 特別協賛

全日空(株)、(株)沖縄タイムス社

■実施要領■

- 一般公開/平成16年2月7日(土)～2月15日(日)までの9日間
- 会 場/海洋博公園 熱帯ドリームセンター
- 審 査 会/平成16年2月6日(金)AM10:00～PM5:00

●審査規定/

①認定審査部門/一般に認定されていない新花を対象とし、あらかじめ定められた評価基準により審査委員の持ち点の平均点で次の各賞が認定されます。

- ◎FCC賞 90点以上
- ◎AM賞 80点～89点以上
- ◎HCC賞 75点～79点以上

②コンクール審査部門/投票で選出され次の賞が認定されます。

- ※最優秀賞:出展された全ての洋蘭を対象とし、最も優れた作品を選考する。選考は審査委員の投票によって決定する。
- ※優秀賞:鉢物審査、切花審査、ディスプレイ審査、フラワーデザイン審査、外国出展審査のそれぞれを目的として出展された洋蘭又は作品を対象とし、各部門で最も優れた作品を選考する。各賞は、審査委員の投票によって決定する。
- ※優良賞:優秀賞の選考基準に準ずる。
- ※奨励賞:優秀賞の選考基準に準ずる。

●表彰規定/

①認定審査部門

- ◎FCC賞 若干名……最高額100万円
- ◎AM賞 若干名……最高額70万円
- ◎HCC賞 若干名……最高額30万円

②コンクール審査部門

- ※最優秀賞
沖縄国際洋蘭博覧会大賞(内閣総理大臣賞)………1点100万円
- ※優秀賞
・鉢物審査の部(沖縄及び北方対策担当大臣賞)……1点50万円
・切花審査の部(農林水産大臣賞)………1点50万円
・ディスプレイ審査の部(国土交通大臣賞)………1点50万円
・フラワーデザイン審査の部(文部科学大臣奨励賞)……1点50万円
・外国出展審査の部(外務大臣賞)………1点50万円
- ※優良賞
・鉢物審査の部(沖縄総合事務局局長賞)………1点30万円
・切花審査の部(沖縄県知事賞)………1点30万円
・ディスプレイ審査の部(沖縄県知事賞)………1点30万円
・フラワーデザイン審査の部
(日本フラワーデザイナー協会理事長賞)………1点15万円
(日本生花通信配達協会会長賞)………1点15万円
・外国出展審査の部(沖縄総合事務局局長賞)………1点30万円
- ※奨励賞
・若干名 (財)海洋博覧会記念公園管理財団理事長賞(副賞、各スポンサー)



AWARDS



OKINAWA INTERNATIONAL ORCHID SHOW 2004

沖縄国際洋蘭博覧会

CONTENTS

目次

挨拶..... 2

沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会

委員長 山田 勝巳

Greetings

Chairman of Okinawa International Orchid Show

Committee,

Mr. Katsumi Yamada

平成15年度入賞作品 AWARDS 2004

- コンクール審査部門/Competition..... 3
- 認定審査部門/Certification..... 14
- 審査員名簿/List of Judges..... 18
- スナップ/Snaps..... 19
- ランに関する講演会/
Lecture on the Circumstances of Orchids 24
- 記念品について/Souvenirs..... 28
- 各地の蘭展への参加記録/
Participation of display for other Orchid Shows... 29
- 出展者紹介/Participants..... 30
- 協賛団体紹介/Introduction of Sponsors..... 32



挨拶

(Greetings)

沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会

委員長 山田 勝巳

Chairman of Okinawa International Orchid Show Committee.
Mr.KATSUMI YAMADA

「沖縄国際洋蘭博覧会 2004」の開催に際しましては、多数の出展並びに、絶大なるご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございました。おかげをもちまして、本洋蘭博覧会は盛況裏に終了することができました。

国営沖縄記念公園、熱帯ドリームセンターの開園を機に開催された本洋蘭博覧会も今回で第18回目を迎えることができ、更に、出展内容も今まで以上に充実した成果を挙げることができましたことに対し、厚くお礼申し上げます。

また、国内外の洋蘭専門家を招いての講演会では、多数の参加者による活発なご意見、ご質問があり、本洋蘭博覧会の目的である「情報交換、技術の普及・向上」等の事業が少なからず達成できたものと思います。

出展においては、本県はもとより国内からは22都府県、そして国外からはフィリピン、タイ、マレーシア、台湾から参加があり、また出展内容も国外からの出展数が増える等、これまでにない成果を挙げる事ができました。

幸い、本県は洋蘭の栽培には気候的な条件等にも恵まれ、今日では我国の洋蘭生産の拠点となりつつあります。それを背景に開催される意義は大きく、これからの国内外の洋蘭情報発信地となるばかりではなく、洋蘭を通じた国際社会の形成と本県の観光並びに花卉園芸の普及、さらには都市緑化にも大きく貢献していくことと思います。

次回、第19回目を迎える本洋蘭博覧会では、これまでの実績と新たな目標に向かって努力する所存でありますので、愛好者並びに生産者におかれましては尚一層のご研鑽をご期待申し上げると同時に、今後とも皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成16年2月

I would like to take this opportunity to express my deepest gratitude to all exhibitors to the "Okinawa International Orchid Show 2004" and to all those who have so generously provided their assistance and cooperation with the presentation of this event, there by making it such a notable success.

The "Okinawa International Orchid Show" was first held to mark the opening of the Tropical Dream Center at the Okinawa Commemorative National Government Park. This year's show is especially significant in that it marks the 18th of the event. This year's show is on a higher level than ever before, and I would like to thank everyone who has contributed to this.

Lectures given by reknown experts from throughout Japan and abroad feature a lively repartee of questions and opinions. Such occasions lead in sure, steady steps, to the goals of our orchid exhibits: information exchange and progress and dissemination of technical expertise.

Exhibitors this year have come from Okinawa Prefecture itself, from a further 22 Japanese prefectures, from Southeast Asia, notably from the Thailand and Malaysia. As befits such a commemorative event, the exhibits have been of unprecedented quantity and quality.

Okinawa is fortunate in possessing a climate ideally suited to the cultivation of orchids; the prefecture is currently in the process of becoming the main center of orchids production in Japan. These circumstances clearly enhance the significance of this event. I believe that Okinawa will become a focal point for the generation of information on orchid production both inside and outside Japan. I also hope that orchids will serve as the medium where by Okinawa can make an important contribution to international society, to tourism within the prefecture, to the diffusion of horticulture, and by extension to the promotion of greenery in the urban environment.

We intend to build on our past achievements and to aim toward the realization of new objectives at the 19th "Okinawa International Orchid Show" to be held next year. In the meantime, I would like to ask both producers and lovers of orchids to raise their standards to yet higher levels. May I also ask you for your continuing support and cooperation with this event.

February 2004



コンクール審査部門 (Competition)

沖縄国際洋蘭博覧会大賞 (内閣総理大臣賞)

(Grand Champion)



Laeliocattleya Poor Paul 'Blue Heaven'



OKINAWA INTERNATIONAL ORCHID SHOW 2004



石井 春枝 / Ms. Harue Ishii
神奈川県 (三浦市)

蘭にとりつかれて、庭の一等地に10坪の温室を作ってから大株作りの挑戦を始めました。一年に一度見る花を相手に10年程は試行錯誤をくりかえしながらその間、それらしき園芸書を読みあさり、あらゆる蘭展・蘭園めぐりもしました。今回、はからずもこの大株に内閣総理大臣賞という栄誉あるおほめのおことばをいただき大変感激しております。大株作りに挑戦しての20年間を評価してくださった審査員の先生方に心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。年はとりましたが、これからも今以上の栽培方法が織りだせる様、更に努力してみたいと思っております。沖縄国際洋蘭博覧会が国内有数の蘭展示会場となります様、ますますの発展をお祈り申し上げます。

コンクール審査部門 (Competition)

鉢物審査の部

(Potted Plant)

優秀賞／沖縄及び北方対策担当大臣賞

PRIZE : Minister of State (Okinawa and Northern Territories Affairs)



Dtps. (Phal. Ming-Hsing Cinderella×Dtps. Minho Valentine) 'M1'



町田 繁

Mr. Shigeru Machida

沖縄県 東風平町

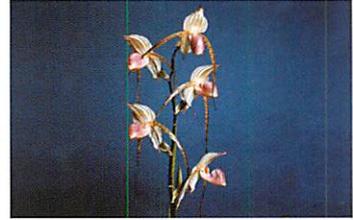
今回の受賞のコチョウランは良い素材に恵まれ、大きく育てる事が出来、性質を引き出せることが出来た気がします。今後も華やかなカトレアやコチョウランで更にも上をめざしていきたいです。

優良賞／沖縄総合事務局長賞

PRIZE : Director of Okinawa General Bureau



Paph. rothschildianum 'Sinobu'
金澤 均 / Mr. Hitoshi Kanazawa



Paph. Booth's Stone-Lady 'Tanabe'
田辺 豊茂 / Mr. Toyoshige Tanabe
賞品提供 / 沖縄県蘭協会



Lyc. Elizabeth Powell
水戸 景之 / Mr. Kageyuki Mito
賞品提供 / 沖縄県農業協同組合

奨励賞／海洋博覧会記念公園管理財団理事長賞



V. Robert's Delight 'Dark Red'
Mrs. KAMONTHIP TECHAHCAREONSUKCHILA
賞品提供 / 日本蘭協会



Dtos. (Phal. Ming-Hsing Cinderella x Dtos. Minho Valentine) 'M2'
町田 繁 / Mr. Shigeru Machida
賞品提供 / 全日本蘭協会



V. Robert's Delight 'Soomsri2000'
Mr. PREECHA TECHAHCAREONSUKCHILA
賞品提供 / 東京オーキッドナーセリー



Paph. Saint Swithin 'yubun'
新垣 雄文 / Mr. Yubun Shingaki
賞品提供 / CHINA AIRLINES



Den. (New Guinea x macrophyllum)
生田 茂 / Mr. Shigeru Ikuta
賞品提供 / 北部らん友会



Cym. Bronze Empress 'Midori Sinzyu'
(株) 河野メリクリン / KAWANO MERICLONE, Co., Ltd
賞品提供 / 日本航空 (株) 沖縄支店



Lyc. Kageyuki Delight
水戸 景之 / Mr. Kageyuki Mito
賞品提供 / (有) らんの里 沖縄



C. walkeriana 'Akasaka'
藤 広治 / Mr. Hiroji Fujii
賞品提供 / (財) 海洋博覧会記念公園管理財団



Paph. (Gege Hughes x Lippewunder) 'Kurosawa'
黒澤 敏行 / Mr. Toshiyuki Kurosawa
賞品提供 / (財) 海洋博覧会記念公園管理財団

コンクール審査部門 (Competition)

切花審査の部

(Cut Flower)

優秀賞／農林水産大臣賞

PRIZE : Minister of Agriculture, Forestry and Fisheries



Mkra. Gold Nugget



Malaysia Orchid Growers Association

マレーシア

This year (2004) is my second times Participate in Okinawa International Orchid Show.

I would say the show was very well organized. It has improved a lot Compare to 1989 show, in terms of quantity, quality, varieties and judging of awards. Especially your worm hospitality.

今年(2004年)は私にとって2度目の沖縄国際洋蘭博覧会です。沖縄国際洋蘭博覧会はとてもよく計画されていると思います。数、品質、品種、そして審査に関して、また特に暖かいホスピタリティーは、1989年の博覧会よりもよくなっていると思います。

優良賞／沖縄県知事賞

PRIZE : Governor of Okinawa Prefecture



Onc. ハニードロップ
幸喜 弘 / Mr. Hiroshi Kouki

奨励賞／海洋博覧会記念公園管理財団理事長賞



Den. トミードレイク
宮里 徳正 / Mr. Tokumasa Miyazato
賞品提供 / 神戸蘭友会



Den. カサブランカ No2
知念 美代子 / Ms. Miyoko Chinen
賞品提供 / 福岡洋蘭愛好会



Den. トミードレイク
宮里 春美 / Ms. Harumi Miyazato
賞品提供 / 沖縄県緑化種苗協同組合



Bc. Pastoral 'Innocence'
山城 喜光 / Mr. Kikou Yamashiro
賞品提供 / ANA 全日空(株) 沖縄支店



Onc. ハニードロップ
長嶺 由直 / Mr. Yoshinao Nagamine
賞品提供 / (財) 海洋博覧会記念公園管理財団

コンクール審査部門 (Competition)
ディスプレイ審査の部
(Display)

優秀賞／国土交通大臣賞

PRIZE : Minister of Land, Infrastructure and Transport



テーマ／「再生する森」
沖縄県立中部農林高等学校造園科 沖縄県（具志川市）

迫力で勝負するために、枯木は特に大きなものを使用しました。横幅や奥行きは制限があり、大きなものを詰めこむのは非常に難しいので高さを意識しました。(実際には、高さも天井があるため制限を受けるのですが、目一杯使った作品は少ない)

大きな枯木を展示場所まで運ぶ方法や、安定させて設置する方法に工夫をこらしました。

また、今回は蘭の調達にも品薄のため苦労させられました。

優良賞／沖縄県知事賞

PRIZE : Governor of Okinawa Prefecture



テーマ／「美らしま清(ちゅ)ら花紀行(今日発進)」 (資)美樹園 沖縄県(名護市)

奨励賞／海洋博覧会記念公園管理財団理事長賞



テーマ／「植物と「水」と花々の響き」
株式会社 琉商造園土木
賞品提供／(社)ランドスケープコンサルタツ協会



テーマ／「源」
沖縄熱帯植物管理株式会社
賞品提供／(社)日本造園建設業協会



テーマ／「創大な自然美」
ナゴバイナッブルパーク
賞品提供／三浦市蘭友会



テーマ／「春を彩るオーキッド」
本部造園株式会社
賞品提供／(社)沖縄県造園建設業協会

コンクール審査部門 (Competition)
フラワーデザイン審査の部
(Flower Design)

優秀賞/文部科学大臣奨励賞

PRIZE : Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology



テーマ/「陽光」

新川 栄子/Ms. Eiko Arakawa 沖縄県 (沖縄市)

洋蘭博覧会は3度目の挑戦になります。約5年ぶりで、今年はラッキーでした。ありがとうございました。これからも、又、マイペースで頑張りたいと思います。どうぞ、よろしくお願ひします。

優良賞 / (社) 日本フラワーデザイナー協会理事長賞
 PRIZE : Chairman of directors, Nippon Flower Designers Association

優良賞 / (社) 日本生花通信配達協会会長賞
 PRIZE : President of Japan Florists Telegraph Delivery Association



テーマ / 「よろこび」
 山里 勝子 / Ms. Katsuko Yamazato
 沖縄県 (那覇市)



古堅 房子 / Ms. Fusako Furugen
 沖縄県 (那覇市)

奨励賞 / 海洋博覧会記念公園管理財団理事長賞



テーマ / 「春光」
 与那覇 恒子 / Ms. Tsuneko Yonaha
 沖縄県 (今帰仁村)
 賞品提供 / (社) 日本フラワーデザイナー協会



テーマ / 「森の精」
 比嘉 春恵 / Ms. Harue Higa
 沖縄県 (宜野湾市)
 賞品提供 / 日本洋蘭農業協同組合



テーマ / 「宴」
 伊藤 由里 / Ms. Yuri Itou
 沖縄県 (名護市)
 賞品提供 / (社) 日本生花通信配達協会 (JFTD)



テーマ / 「春が訪れるまで」
 仲田 るみ子 / Ms. Rumiko Nakada
 沖縄県 (宜野湾市)
 賞品提供 / 沖縄県花卉園芸農業協同組合



佐喜真 ゆかり / Ms. Yukari Sakima
 沖縄県 (宜野湾市)
 賞品提供 / 広島洋らん協会



本部 みさ子 / Ms. Misako Motobu
 沖縄県 (浦添市)
 賞品提供 / (財) 海洋博覧会記念公園管理財団

コンクール審査部門 (Competition)
外国出展審査の部
(Foreign Countries)

優秀賞／外務大臣賞 PRIZE : Minister of Foreign Affairs



Den. chrysopterum 'Ching Hua'

清華蘭園有限公司

C. H. Orchid 台湾

This Plant Den. chrysopterum (obtusisepalum) 'Ching Hua' we already grow it for 5 years. 3 years ago got first bloom. Last year we got BM/TOGA (77pts). This spring that plant become so great, and we bring it to Okinawa. Fortunately It win this award.



今回受賞した Den. Chrysopterum 'Ching Hua' は 5 年間育ててきました。そして 3 年前に初めて花を咲かせました。

昨年 TOGA (台湾洋蘭生産組合) で BM を取りました。この春にはこの植物はとてもよい状態となり沖縄に持って来ました。そして幸いにもこの賞を得ることができました。

優良賞／沖縄総合事務局長賞

PRIZE : Director of Okinawa General Bureau



Paph. Prince Edward of York 'GW' Mr. Tine -Huang Chin 台湾

奨励賞／海洋博覧会記念公園管理財団理事長賞



Paph. Valerie Tonkin 'Ching Hua'
清華蘭園／C.H.Orchid 台湾
賞品提供／蘭友会



Arnth. James Storie 'yellow'
Malaysia Orchid Growers Association マレーシア
賞品提供／(財)海洋博覧会記念公園管理財団

認定審査部門

(Certification)



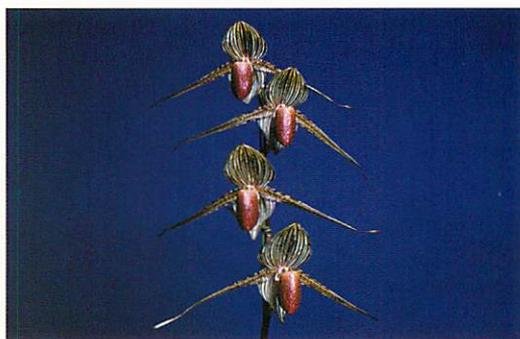
Paph. Screaming Eagle 'yutaka' HCC/OIOS
石川 豊 / Mr. Yutaka Ishikawa



Paph. (Jolly Green Gem x Peter Black) 'Seitoku' HCC/OIOS
大津 豊隆 / Mr. Horyu Ohtsu



Paph. (Gege Hughes x Lippewunder) 'Kurosawa' HCC/OIOS
黒澤 敏行 / Mr. Toshiyuki Kurosawa



Paph. rothschildianum 'Sinobu' HCC/OIOS
金澤 均 / Mr. Hitoshi Kanazawa



Pot. (Pot. Sally Tayler x Lc. Tainan City) 'Kina' HCC/OIOS
喜納 昌久 / Mr. Syokyu Kina



V. Robert's Delight 'Dark Red'
MRS. KAMONTHIP TECHAHCAREONSUKCHILA



Paph. Lady Luck 'Tokyo No1'
大場 和夫 / Mr. Kazuo Ohba

認定審査部門

(Certification)



V. Robert's Delight 'Soomsri2000' HCC/OIOS
MR. PREECHA TECHAHCAREONSUKCHILA



Blc. Kaori Yohena 'N.C' HCC/OIOS
靚平名 知育/Mr. Tomoiku Yohena



Paph. Pandemonium 'Shock Wave' HCC/OIOS
竹上 敏江/Ms. Toshie Takenoue



V. Robert's Delight 'Somsri2000' HCC/OIOS
Mr. Chom Boonyam



Paph. Mystic Knight 'Acihara' HCC/OIOS
伊藤 清水/Ms. Kiyomi Itou



Paph. (Memoria George Betzold x concolor) 'Sala'
HCC/OIOS
新垣 雄文/Mr. Yubun Shingaki



Paph. Booth's Stone-Lady 'Tanabe' HCC/OIOS
田辺 豊茂/Mr. Toyoshige Tanabe

認定審査部門

(Certification)



Paph. Prince Edward of York 'GW' HCC/OIOS
 泰添煌 / Mr. Tine-Huang Chin



Paph. Norito Hasegawa 'Mako' HCC/OIOS
 大島 悦夫 / Mr. Etsuo Ohshima



Lc. Breen's Jenny Ann '慶明二号' HCC/OIOS
 伊佐 仁信 / Mr. Yoshinobu Isa



Dtps. (Phal. Ming-Hsing Cinderella x Dtps. Minho Valentine) 'M1' HCC/OIOS
 町田 繁 / Mr. Shigeru Machida



Ascda. Somsri Gold 'CHOM' HCC/OIOS
 MRS. SOMSRI BOONYAM



Paph. (Memoria George Betzold x concolor) 'Miku' HCC/OIOS
 新垣 雄文 / Mr. Yubun Shingaki

認定審査部門

(Certification)



Bic. Taiwan of King 'Orchis' HCC/OIOS
伊佐 仁信/Mr. Yoshinobu Isa



Dtps. (Phal. Ming-Hsing Cinderella×Dtps. Minho Valentine) 'M2' HCC/OIOS
町田 繁/Mr. Shigeru Machida



Paph. Green Window 'Stone' HCC/OIOS
(株)東京オーキッドナーセリー



Paph. Saint Swithin 'yubun' HCC/OIOS
新垣 雄文/Mr. Yubun Shingaki



Paph. Lebeau 'kawamoto' HCC/OIOS
川本 広/Mr. Hiromu Kawamoto



Paph. (Irish Eyes×Spin Docter) 'Ohba' HCC/OIOS
四国・大場ラン園

審査委員名簿

(List of Judges)

審査委員長 Chairman of Judges

高橋 靖昌 日本洋蘭農業協同組合 副組合長 理事

審査委員 Judges

Dr. Rapee Sagarik	タイ国蘭協会 会長
Mrs. Kalya Sagarik	タイ国蘭協会 副会長
Mr.Kelvin Neil B. Manubay	フィリピン蘭協会 教育、調査委員長
Mr.Sheh-Shun Chen	台北蘭協会 会長
Mr.Chea Wah Sang	マレーシア洋蘭生産組合
Mr. Wong Kiang Ho	マレーシア洋蘭生産組合 組合長
唐澤 耕司	ラン研究家 理学博士
別所 和敏	日本蘭協会 常任理事
水戸 景之	全日本蘭協会 公認審査員
内田 一仁	日本洋蘭農業協同組合 理事
西村 誠	蘭友会 理事 会報委員長
重田 裕充	三浦市蘭友会 事務局長
宗田 利通	広島洋らん協会 理事
平野 和子	福岡洋蘭愛好会 会長
村上 寛	神戸蘭友会 副会長
曾田 欽嗣	(社) 日本造園建設業協会 常任顧問
杉尾 伸太郎	(社) ランドスケープコンサルタンツ協会 会長
中村 史子	(社) 日本フラワーデザイナー協会 理事長
千本 道雄	(社) 日本生花通信配達協会 元会長 名誉理事
徳本 行雄	沖縄県蘭協会 会長
新垣 雄文	沖縄県蘭協会 副会長
伊佐 英仁	沖縄県蘭協会 理事
仲本 善宜	北部らん友会 名護支部長
安慶名 一郎	沖縄市ラン同好会前会長 沖縄県蘭協会理事
新田 哲也	沖縄県農業協同組合 北部地区営農センター 花卉部 部長
園田 茂行	沖縄県花卉園芸農業協同組合 販売部長
新垣 善孝	沖縄県緑化種苗協同組合 理事長
渡嘉敷 正彦	(社) 沖縄県造園建設業協会 副会長
小渡 ハル子	(社) 沖縄県婦人連合会 副会長
和宇慶 朝健	沖縄県立芸術大学 教授
松江 正彦	国营沖縄記念公園事務所 所長
Mr. Shui-En KAO	台湾蘭花産銷發展協會 審査長
Mr. Tin-Hsung LEE	台湾蘭花産銷發展協會 常務監事長
小松 清	(財) 海洋博覧会記念公園管理財団 理事長付
花城 良廣	(財) 海洋博覧会記念公園管理財団 事務局長 都市緑化植物園 園長



審査会

(Judging)



表彰式

(Official Commendation)



一般公開

(Open to the Public)



鉢物展示会場



切花展示会場



一般公開

(Open to the Public)



フラワーデザイン展示会場（総合デザイン）



フラワーデザイン展示会場（ニューブーケ）



ディスプレイ展示会場



ランに関する講演会



展示即売会



洋ランプレゼントクイズ

一般公開 (Open to the Public)



トルコのアイスクリーム「ドンドルマ」実演販売



世界の珍しい蘭展



いけばな展



ミニいけばな教室



コサージュ教室



洋ラン栽培相談コーナー

いけばな展

(Ikebana Exhibition)

沖縄県華道連盟の協力を得て10流派による蘭を活けるいけばな展を開催。

期間：平成16年2月12日(木)～15日(日)



一葉式いけばな
比嘉 葉泉 (享子)
講久村 由泉 (由美子)
古堅 敦泉 (敦子)



古流松藤会
潮平 理保 (保子)
仲本 理美保 (美保子)
兼城 理千 (千鶴)
比嘉 トミ子



櫻花遠州流
新川 利和 (和枝)
山里 利智 (智代子)
金城 和文 (文子)
金城 智寿 (忠美)



嵯峨御流
仲程 静甫 (静子)
阿波根 静甫 (静子)
東恩納 政子
宮城 峰子
玉城 忠美子
徳村 美枝子



小原流
高江洲 豊栄 (良枝)
山城 豊忠 (八重)
崎山 翠洋 (洋子)
具志堅 陽苑 (マサ子)
島袋 豊寿 (七子)
神里 陽園 (和子)



専正池坊
照屋 雅幸 (雅二)
金城 江柳 (節子)
崎浜 和仙 (和美)
花城 春静 (春子)
棚原 綾月 (綾乃)
山城 咲苑 (咲登美)



華道家元池坊
仲本 興太郎
仲本 尚子
金城 ちさ子
川上 真由美
北山 綾子
満名 羽津枝



草月流
赤嶺 羊染 (勝枝)
村山 幸永 (美代子)
仲間 永峯 (紀子)
伊野波 光枝
宮城 玲子
仲尾 次洋子



華道草真流
平良 覺泡 (勝子)
又吉 覺悦 (秀子)
次呂 久覺祥 (公子)
平良 覺泉 (奈奈)



龍生流
仲程 房華 (房子)
大城 代華 (加代子)
新垣 智華 (智佳子)
東恩納 宗陽 (美枝子)
宮里 宗悦 (悦子)
大城 宗紅 (美貴子)



ランに関する講演会

(Lecture on the Circumstances of Orchids)

フィリピンの注目すべきランについて
～沖縄の気候と生育条件に適したラン類～

Noteworthy Philippine Orchid Species Suited for Okinawa's Growing Conditions



ケルビン・ニール・マヌベイ
Mr. Kelvin Neil B. Manubay
フィリピン蘭協会 教育、調査委員長
Philippine Orchid Society

熱帯ランは高温多湿の生育条件を必要とするため、温帯および涼しい地域での栽培・開花は困難と考えられてきました。それでもその独特で魅惑的な美しさゆえに、多くのラン愛好家が栽培に取り組みんでいます。フィリピンのラン類は美しいだけでなく、新しい交配種を生み出すのにも貢献していることから、世界中で賞賛されています。その一例を挙げると：

(1) バンダ・サンテリアナ：ランの女王と呼ばれ、大きく丸みのある花をつけるバンダの交配に広く使われます。

(2) ファレノプシス・フィリピンシス：長い穂状花序と白く大きな花を特徴とするファレノプシスの生産に使われます。

(3) レナンセラ・ストリエイ：枝分かれて多数の明るい赤色の花をつけるカガワラやフルトゥマラなどの切花むき交配種の生産に使われます。

(4) パフィオペディルム・フィリピンセ(レビガタム)：高く垂直な穂状花序に、長くねじれた花弁を持つ花が複数咲くのが特徴です。

しかし、これらはフィリピンのランのほんの一部に過ぎません。フィリピンには141属1,100種(変種を含む)のラン類が生息しており、その分布も、高温多湿で年間平均気温が32℃の沿岸平野部から、12℃-22℃の涼しい高地まで、実に広範囲にわたります。高地の気候は亜熱帯地域である沖縄とよく似ています。

そこで、沖縄で栽培・開花が可能と思われるフィリピンのランをいくつかご紹介いたします。

The orchid species from warm tropical countries have always been considered a challenge to grow by orchid collectors who come from the temperate or cooler regions of the world, due to the hot and humid conditions required to grow and flower. But despite this seemingly difficult challenge, many still insist on growing them because of their unusual rarity and sheer exotic beauty. Many orchid species of the Philippines have achieved world recognition, not only for their beauty but also for their contribution in the development of new orchid hybrids. Some examples of these world-renowned warm growing orchid species are:

(1) *Vanda sanderiana*: Called the Queen of Orchids. Extensively used in breeding for the production of large and round flowered *Vanda* hybrids.

(2) *Phalaenopsis philippinensis*: Used to produce large white *Phalaenopsis* flowers with long water spikes and yellow side lobes.

(3) *Renanthera storiei*: Extensively used for producing cut-flower varieties with bright red colors and branching sprays like *Kagawara* and *Hulttumara* hybrids.

(4) *Paphiopedilum philippinense* var. *levigatum*: Gives off multiple flowers with long twisting petals on tall upright spikes.

However, these plants are just a few of what the Philippines has to offer. Philippine orchid flora is represented by 141 orchid genera consisting of 1,100 orchid species and varieties. Likewise, their distribution varies from warm and humid low-lying coastal plains with average temperatures of 32° C year-round, to cool and moist mountain ranges where temperatures range from lows of 12° C to highs of 22° C. The latter is very similar to that of the subtropical climate of Okinawa, Japan.

Thus, I would like to recommend some noteworthy Philippine orchid species that I believe will grow and flower well in Okinawa's climate.

単茎性ラン Monopodial orchids	生育条件 Growing Conditions			複茎性ラン Sympodial orchids	生育条件 Growing Conditions		
	光 Light	湿度 Humidity	温度 Temp.		光 Light	湿度 Humidity	温度 Temp.
<i>Vanda lamellata</i> var. <i>boxalli</i>	Bright	70%	12-28°C	<i>Dendrobium anosmum</i> var. <i>superbum</i>	Med- Bright	60-80%	12-28°C
<i>V. lamellata</i> var. <i>remediosae</i> var. <i>Flava</i> , var. <i>calayana</i>	Bright	60%	20-32°C	var. <i>huttonii</i> var. <i>rosea</i> <i>Den.heterocarpum</i>			
<i>V. merrillii</i> var. <i>rotorii</i>	Med.-Bright	70%	18-30°C	<i>Den.bullenianum</i>	Med.-Bright	60%	20-32°C
<i>V. ustii</i>	Med- Bright	70%	12-28°C	<i>Den.philipsii</i>	Shade-Med.	80%	14-28°C
<i>V. javierii</i>				<i>Den.amethystoglossum</i>	Bright	80%	14-28°C
<i>V. roeblingiana</i>				<i>Den.secundum</i>	Bright	60%	18-30°C
<i>Aerides quinquevulnera</i> var. <i>farrnerii</i>	Bright	60%	14-34°C	<i>Den.goldschmidtianum</i>	Med.-Bright	70%	14-28°C
<i>Aer. odorata</i>	Bright	60%	14-34°C	<i>Den.uniflorum</i>	Bright	70%	20-32°C
<i>Aer. Leeana</i>	Shade-med.	80%	18-28°C	<i>Paphiopedilum philippinense</i>	Bright	60%	20-32°C
<i>Aer. Lawrenceae</i>	Bright	80%	20-32°C	<i>Paph.haynaldianum</i>	Med.-Bright	80%	14-28°C
<i>Staurochilus luzonensis</i>	Bright	60%	20-32°C	<i>Paph.hennisianum</i>	Med.-Bright	60%	20-32°C
<i>Staurochilus guibertii</i>				<i>Paph.superbiens</i>	Med.-Bright	80%	14-28°C
<i>Trichoglottis latisepala</i>	Shade-Med.	70%	18-28°C	<i>Paph.randsii</i>	Bright	60%	20-32°C
<i>Amesiella philippinensis</i> <i>Amesiella monticola</i> <i>Ceratocentron fessellii</i>	Med.-Bright	80%	12-28°C	<i>Epigonium treacherianum</i>	Bright	80%	18-28°C

Bright = 日なた

Medium (Med.) = 半日陰

Shade = 日陰

ランに関する講演会

(Lecture on the Circumstances of Orchids)

南太平洋のランについて Orchids of the South Pacific

遊川 知久

Mr. Tomohisa Yukawa

国立科学博物館筑波実験植物園 主任研究官
National Science Museum, Tsukuba Botanical Garden



南太平洋のバヌアツとニューカレドニアという二つの島は、200kmしか離れていないにもかかわらず生育しているランの種類が全く違います。このおもしろい現象はなぜ起きたのでしょうか。

バヌアツは赤道に近く、年中雨の多い熱帯地域です。海底火山が爆発して隆起した若い島で、150万年前は海の底でした。一方、ニューカレドニアは南回帰線がすぐ下を走っており、雨季・乾季がはっきりしています。 Gondwana大陸の一部がちぎれて島になったもので、8千万年前はオーストラリアやニュージーランドとつながっていました。

島という環境においては、新しい種は飛んでくるか、鳥や海流によって運ばれてくるかのいずれかしかありません。150万年前までは海底だったバヌアツに生育するのは100kmしか離れていないソロモン諸島あたりから飛んできて定着した種ばかりです。固有種は少なく、生息するラン158種のうち固有種はわずか7%です。一方、ニューカレドニアには大陸時代からの古い植物と、新しい種が混在しています。独自の進化を遂げる時間が長くあったため固有種が多く、生息するラン215種のうち50%が固有種です。また超塩基性岩という特殊な土壌のため、よそから飛んできた新しい種が定着しにくい上、オーストラリアから1200kmも離れているため、新しい種が入ってきにくい環境となっています。

バヌアツの森林を歩くと、熱帯アジアの植物相とよく似ています。バヌアツのランはアジアからニューギニアを通過して分布してきたもので、そういった意味から、バヌアツは「熱帯アジアの果て」ということができます。それに比べニューカレドニアの植物は、Gondwana大陸時代のなごりからオーストラリアやニュージーランドと共通するものが多く見られます。こちらは「オセアニアの果て」というわけです。

国立科学博物館では、世界中のラン数百種類のDNAの塩基配列を調べ、互いの縁の近さを調べています。驚くべきことに、ニューカレドニアの固有種であるメガスティリス・ギガスという地生ランは、チリ南部のバタゴニアにしか生息しないクローエア・マジェラニカと最も縁が近いことが判明しました。1万キロ以上離れた地域でこれほど近い種が発見された理由はGondwana大陸でした。ニューカレドニアもチリも、かつてはGondwana大陸の一部であり、1億年前は陸続きだったのです。このように、植物の分布から地球の歴史をかみ見ることが出来ます。

Although only 200 km apart, the South Pacific islands of Vanuatu and New Caledonia have completely different orchid species. Here, I explore the causes of this interesting phenomenon.

Located near the equator, Vanuatu has a tropical climate with abundant rainfall throughout the year. It is a comparatively new island formed by the eruption of an underwater volcano, and did not emerge on the ocean surface until just 1.5 million years ago. On the other hand, New Caledonia, located just below the Tropic of Capricorn, has distinct rainy and dry seasons. New Caledonia is an old break off from the Gondwana Continent in the ancient past; until some 80 million years ago, it was connected to Australia and New Zealand.

The only way a new species can be introduced to an island is to be transported, most often by birds or ocean currents. The species of orchids on Vanuatu, which was under the sea until 1.5 million years ago, arrived from the Solomon Islands which are only 100 km away. There are very few indigenous species; only 7% of the 158 species of orchids on Vanuatu are indigenous. In contrast, New Caledonia has a mixture of old plant species from the era when it was a part of the continent, and newly introduced species. Because there has been sufficient time for evolution of its plants, New Caledonia has many indigenous species. 50% of the 251 orchid species on New Caledonia are indigenous. New Caledonia is resistant to the entry of new species because of the ultra-basic soil quality and its location 1200 km away from Australia.

The flora in the forests of Vanuatu is similar to the flora of tropical Asia. The orchids found in Vanuatu came from Asia via New Guinea; in that sense, you can say that Vanuatu is the farthest reach of tropical Asia. In contrast, the flora in New Caledonia is akin to the flora of Australia and New Zealand, today's vestiges of the ancient Gondwana continent. New Caledonia is therefore the farthest reach of Oceania.

The National Science Museum researches the DNA base arrangements of hundreds of orchids around the world, to study the kinship of the species in the overall family tree. Surprisingly, the closest relative of *Megastylus gigas*, a terrestrial orchid indigenous to New Caledonia, is *Chloraea magellanica*, an orchid species found only in Patagonia in southern Chile. Why were such close relatives discovered in two areas over 10 thousand kilometers apart? The reason lies in Gondwana. Both New Caledonia and Chile were part of the Gondwana Continent some 100 million years ago. Plant distribution is testimony to the history of our planet.



ランに関する講演会

(Lecture on the Circumstances of Orchids)

パプアニューギニア高地の野生ランと植生環境 Wild Orchids and Flora in the Highlands of Papua New Guinea



上里健次

Dr. Kenji Uezato

琉球大学農学部教授

Faculty of Agriculture, University of the Ryukyus

1978-79年にパプアニューギニアにおいて実施された九州大学、鹿児島大学、琉球大学による「マレーシアシャクナゲに関する調査研究」の現地調査に参加し、サブワークとして野生ランに関する調査研究を行いました。3ヶ月近くわたる調査で訪れたオーエンスタンレー山脈のふもと、モロベ州プロロで撮影したスライドを使い、野生ランの分布と植生環境についてご紹介します。道路もなく飛行機でしか行かない、めったに行くことのできない場所ですので、旅を楽しむような気持ちでご覧ください。

ニューギニア島は日本の本州の3倍の面積を有する、世界第二の大きな島です。調査を行ったプロロの標高1200m~2800m付近は、びっしりと苔むしたモスジャングルが広がり、気温は夜間5℃、日中15℃程度で、年間通じて四季の変化がありません。

ニューギニアの高地にはデンドロビウムが多く、カリプトキルス(*D. lawesii*, *D. phlox*等)、オキシグロッサム(*D. rupestre*, *D. dekokkii*, *D. sulphureum*等)、クズバートソニア(*D. cuthbertsonii*, *D. sphronites*等)の3つのデンドロビウムのグループが分布しています。矮小ながら大きな花をつけ、へら状の唇弁、鮮やかな花色が宝石のように美しく、しかも一度咲くと3~4ヶ月から8ヶ月と信じられないほど長い間咲き続けます。他にも、バルボフィルム、カランセ、スパノグロツティス、セロジネ、セラトスティリスなどのランが見られます。

ランと共存してよく見られるしゃくなげは、熱帯性のものが20種以上分布しています。野火で焼けたあとの草原によく花が咲いているのがみられ、また湿度の高いところでは、本来地生植物のしゃくなげが倒木に着生している例が観察されました。

In 1978-79, I participated in a survey of Rhododendrons in Papua New Guinea conducted under the joint auspices of Kyushu University, Kagoshima University, and the University of the Ryukyus, and studied wild orchids as my sub-work. Today, I will discuss the wild orchid distribution and flora in Papua New Guinea using the slides I photographed during my three-month stay in Papua New Guinea. These photos were taken in Bulolo, Morobe Province, near the Owen Stanley Range - an area with no roads, and accessible only by air. Please sit back, relax, and enjoy the tour.

New Guinea is the second largest island in the world, three times the size of Japan's Honshu Island. Bulolo, located at elevations of 1200 - 2800 m, is covered with thick moss jungle. There are no seasonal changes throughout the year, with nighttime temperature of 5°C and daytime highs of 15°C.

The many *Dendrobium* species found in the highlands of New Guinea can be categorized into three *Dendrobium* groups: *Calyptochilus* (*D. lawesii*, *D. phlox*, etc.), *Oxyglossum* (*D. rupestre*, *D. dekokkii*, *D. sulphureum*, etc.), and *Cuthbertsonia* (*D. cuthbertsonii*, *D. sphronites*, etc.). Although miniature in size, these highland orchids have large flowers, with unique spatula-shaped lips and vivid colors. So beautiful are they that they have come to be called, the "jewels of the jungle." Once they bloom, the flowers last a surprisingly long period - anywhere from three or four months to as long as eight months. Other orchid species found in the highlands of New Guinea include *Bulbophyllum*, *Calanthe*, *Spathoglottis*, *Coelogyne*, and *Ceratostylus*.

There are over 20 species of tropical Rhododendrons, often found in coexistence with orchids. Rhododendrons are often observed flowering in grassy plains after a wild fire. In the high humidity areas, we also found Rhododendrons, which are usually terrestrial, growing epiphytically on the wood of fallen trees.

ランに関する講演会

(Lecture on the Circumstances of Orchids)

第8回アジア太平洋蘭会議・蘭展について 8th Asia Pacific Orchid Conference

陳 石瞬

Mr. S. S. Chen

台北蘭協会 会長

President, Taipei Orchid Society



沖縄国際洋蘭博覧会には、私が台湾の蘭協会の代表になりまして毎年お招きいただいております。今年で14年目になります。年を重ねるごとに素晴らしい成果を納めており、歴代の理事長をはじめ、園長、スタッフの皆様方の他まない努力に敬意を感じております。

台湾で、「2004年第8回アジア太平洋会議及び蘭展」というイベントが開催されるのですが、私は組織委員会委員長を任せていただいておりますので、ご報告も兼ねて来沖させて頂きました。本日、こういった機会を与えていただきました花城事務局長をはじめスタッフの皆様方に心から御礼申し上げます。

1987年から1997年の10年間に渡り、台湾各地の蘭協会で毎年大型の蘭展が開催されており、生産業者や育種家の発展に大きく貢献してきました。既にご存知かと思いますが、特にこの数年間、東京ドームの日本大賞、福岡ドーム大賞、沖縄洋蘭博覧会など様々な成果を上げております。

1999年台湾からのカトレヤPot/Haw Yuan Goldが、カナダのバンクーバーで開催された第16回世界蘭大会(16th World Orchid Conference)で最高賞を獲得し、台湾の蘭が世界の水準にたどりついた事を証明する結果となりました。

丁度この頃開かれた、アジア太平洋会議理事会(APOC MC)に台湾で第8回APOCを開催する件について申し入れ願いを提出し、2001年に名古屋で開催されました、第7回APOCの理事会において正式に可決されました。

今回のAPOC 8は台湾南部の台南県で開催されます。台南県での胡蝶蘭の生産高は、台湾全土の70%を占めており、本国の中でも最も重要な産地となっております。

更に、200ヘクタールという世界最大の敷地面積をもつ蘭生体科学技術グループ段地(蘭生体生物技术園地)が建設中であり、

台南の気候条件は胡蝶蘭の発育に適している為、大小の様々な温室があり日本・アメリカ・カナダ・ヨーロッパなど色々な国に輸出しております。

台南県と台南市は台湾島開発の歴史としては、最も古い歴史があり、300年前オランダ人によって占領され統治されていましたが、その後、明朝時代に海軍がオランダ軍を攻め落とし、城を作り台北統治の拠点となりました。そのため、台南には様々な所に名所旧跡が残っており、今回のAPOCの日程にも視察プログラムを組んでおりますので、是非ご覧になって頂きたいと思っております。

アジア太平洋及び蘭展(APOC)は、アジア太平洋全地域を包括しており、同会議の永久名誉会長であるタイのRapee Sagarik教授によって発起されました。

会員国には、日本・中国・タイ・シンガポール・マレーシア・インドネシア・フィリピン・台湾・ハワイ・オーストラリア・ニュージーランド・韓国などが含まれており、1984年に東京で第1回APOCが初めて開催され、その後、3年おきに開催されております。

次に、第8回アジア太平洋及び蘭展(APOC)の内容についてご紹介させて頂きます。APOCは国際会議・蘭展・懇親会の3部門に分けて行われます。

1. 会議部門

場所は、昨年、台南市にオープンしたエバグリーンプラザホテルで3月3-4-5日の三日間の日程で開催されます。

会議議長として英国RHS会長であり、世界蘭展(W.O.C)のJoyce Stewart女史が出席され、オランダ最大の蘭会社Floricultura社の社長より「オランダの蘭産業」についてのご講演を頂くことになっております。その他、アメリカ・イギリス・ドイツ・ロシア・日本・ブラジル・南アフリカ・タイ・マレーシア・シンガポール・韓国などの専門家・学者の方々が蘭に関する産業・学術研究・テクノロジー・法律・保護などについて研究発表がなされ、台湾からも多くの研究者が参加します。

また、来賓にはアメリカ農林部次長(USDA)、タイ農業機構の役員、コスタリカ環境保護官、ドミニカ農林部次長、フランス18回世界蘭大会(WOC18)主席、そして数多くの蘭協会のグループなど大勢の方が参加され、今回の第8回アジア太平洋及び蘭展(APOC)は、大盛況が期待されます。

2. 蘭展部門

蘭展では今までに、見たこともない最高の作品と、珍しい原種が登場するのを期待しております。

会場には、合計約5万鉢以上の出展を予定しており、3月は丁度胡蝶蘭の開花時期でもあります。会場には、珍品・特選品などが出展されディスプレイのデザインにも工夫を凝らしておりますので、皆様方を驚かせることでしょう。

台湾は世界的な「蘭花王国(The Kingdom of Orchids)」と言っても過言ではないと信じております。

審査員は国内から150名、海外から50名を招聘しております。

会場には約200余りの販売ブースが設けられており、良い株を特価で販売いたします。

会場には政府のご好意により、出張員を現場へ派遣しCITESがその場で即時に発行されますので、外国への蘭のお持ち帰りも問題ございません。

3月5日夕方の開会式には、台湾の陳大統総が参加されりボンカットでオープンの儀式が行われます。

3月6日の台湾ナイト、3月7日の台南ナイトには、台南知事が参加して頂く事になっております。

心からの「熱烈歓迎」皆様のご参加をお待ち申し上げております。ご精進ありがとうございます。

As Chairman of the Taiwan Orchid Association, I am invited each year to the Okinawa International Orchid Show to participate on the panel of judges. On this, my 14th visit to these islands, I celebrate the annual growth and development in scope and content of the International Orchid Show and its ever-growing list of achievements.

Today, I am privileged to introduce the 8th Asia Pacific Orchid Conference 2004 for which I serve as Chairman of the Organizing Committee. Let me also, before I go further, take the opportunity to express my appreciation to Mr. Hanashiro and to the Secretariat of the International Orchid Show for their efforts on behalf of the Show, and for allowing me to make this presentation.

In the decade from 1987 to 1997, the Orchid Association sponsored major orchid exhibitions throughout Taiwan. These shows were beneficial to growers and cultivators. Several went on to win prizes such as the Japan Prize awarded at the Tokyo Dome show, the Fukuoka Dome Exhibition prize, and here at the Okinawa International Orchid Show. In 1999, a single Pot, Haw Yuan Gold won the highest prize at the 16th World Orchid Conference in Vancouver, Canada. It would be no overstatement to say that this proved that Taiwan cultivated orchids have taken their place as one of the top rated plants on the world orchid stage. Actually, it was in this same year that I approached the APOC MC (Asia Pacific Orchid Conference) about holding the conference in Taiwan. Then in 2001 at Nagoya, the motion was approved by the 7th APOC.

The 8th Conference will be held in southern Taiwan in Tainan. This is because the Tainan area is home to about 70% of the Phalaenopsis cultivated in Taiwan. Nearly 200 hectares of land are dedicated to cultivation in one of the world's largest regions dedicated to orchid cultivation. There is an orchid cultivation technical research team. There are also private, civilian areas dedicated to orchid cultivation covering between 5,000 to 10,000 tsubo. The orchids cultivated here are exported primarily to Japan, the United States, Canada and Europe. Tainan was the first part of Taiwan to be developed, and actually settled by Europeans some 300 years ago. Later, Ming naval forces drove the Europeans out of the area and established a Chinese fortress here. This was also the main landing area of the later diaspora from the Chinese mainland. Therefore, holding the 8th Conference here allows us to have numerous tours and provide for other amenities. We believe that attendees will find this a welcoming and interesting venue.

The Asia Pacific Orchid Conference, also called APOC, was founded by its permanent honorary Chairman, the renowned Dr. Prof. Rapee Sagarik of Thailand. Conference members include Japan, China, Thailand, Singapore, Malaysia, the Philippines, Taiwan, Australia, New Zealand, Korea, and others. The first APOC convened in Tokyo in 1984, and every three to four years thereafter. Let me introduce the agenda of the upcoming 8th Conference.

1. Conference Agenda

The venue is the 5 Star Evergreen Plaza Hotel, which opened last year in 2003. Mrs. Joyce Stewart, President of the World Horticultural Society of England cum President of the World Orchid Conference, has agreed to chair the event. The Chairman of Floricultura, largest horticultural corporation in the Netherlands, will make a presentation on "The Orchid Industry in the Netherlands." Several workshops by experts from the United States, England, Germany, Russia, Japan, Brazil, South Africa, Thailand, Malaysia, Singapore, and Korea will cover technical aspects of cultivation, laws, preservation, and current research. Many of Taiwan's specialists will also attend this conference over its three days of March 6-8. VIP speakers will include representatives of the U.S. Department of Agriculture, officials from the Thai Agricultural Ministry, the official in charge of Environmental Preservation for Costa Rica, the Deputy of the Agricultural and Forestry Department of the Dominican Republic, the Chairman of the 18th World Orchid Conference which will convene in France in 2005, and many, many others.

2. Orchid Exhibition

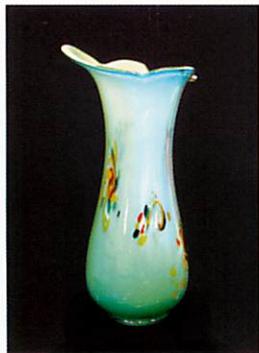
We have every expectation that there will be numerous orchids never before exhibited in any show. The exhibit will hold in excess of 50,000 pots. The end of March dates for the Show is also the prime flowering season for Phalaenopsis in Taiwan. I do not think it would be out of line to call Taiwan, "the Orchid Kingdom." The will include 150 Taiwanese representatives on the panel of judges, and 50 international judges. The exhibition site will have some 200 booths selling orchids and related items. I believe this will be an excellent opportunity to take home rare species from foreign climes.

記念品について

(Souvenirs)

【入賞記念品】

泉川 寛勇 Mr. Kanyu Izumikawa



(有)やんばるガラス工芸館 所属

経歴

昭和24年11月2日生

昭和61年 沖展 奨励賞

昭和62年 第10回 那覇の物産と観光展 優秀賞

昭和63年 沖展 入選

日本民芸公募展 入選

日本民芸公募展 優秀賞

平成元年 沖展 入選 沖展賞

沖展準会員

全国伝統的工芸品展 会長賞

日本民芸公募展 入選

平成2年 全国伝統的工芸品展 会長賞

九州ガラスアート展 佳作賞

日本民芸公募展 入選

平成3年 日本民芸公募展 入選

平成4年 沖展準会員賞

沖展会員推挙

平成5年 沖展会員

琉球ガラス

琉球ガラスは明治の中期頃、九州や大阪のガラス職人の手によって技術が導入されたと言われています。現在ある琉球ガラスとして作られるようになったのは戦後で、コーラやビールの瓶を原料として使用し盛んになりました。廃瓶を原料としていることから、青や赤といったカラフルな色合いがその魅力でもあります。近年は、廃瓶を利用しないものや、細かい気泡が入った泡ガラス、ヒビがはいるものなど、さまざまな作品が生み出されています。

【出展記念品】

知念 績元 Mr. Sekigen Chinen

知念びんがた工房 代表者

経歴

昭和17年 那覇市に生まれる。小さい頃より家業の琉球びんがたを手伝い15才で型掘り、色差しを許される。

昭和55年 県産業まつりにて最優秀賞受賞

平成2年 ハワイ移民90周年記念事業の一環としてハワイで実演と指導を行う。

平成2年 県産業まつりにて最優秀賞受賞

平成3年 伝統工芸品産業振興会より琉球びんがた(総合)伝統工芸士として認定

平成3年 那覇市制施行70周年記念特別表彰琉球びんがたの製作、指導で活躍すると同時に琉球びんがた事業共同組合の副理事長も努める。

平成4年 安谷屋正量賞受賞

平成9年 沖縄県指定無形文化財紅型の保持者として認定。



琉球びんがた

びんがたは、古くは琉球王朝時代に婦人の礼装、神事の服装などとして摺り込みの手法で染められたことがその期限であると言われています。その後14~15世紀に東南アジア各国との交流の中で染色の技術を学びとり、現代までその技法が伝えられたものです。

図柄は、絵画のように立体的な図案の構成の中に四季の風物を融合させたものです。びんがたは、沖縄の長い歴史と風土にはぐくまれた世界に誇る染物です。

各地の蘭展への参加記録

Participation of display for other Orchid Shows



第8回アジア大太平洋蘭会議・蘭展
平成16年3月6日(土)～3月14日(日)
台湾 台南縣



第6回福岡市植物園蘭展
平成16年3月13日(土)～3月21日(日)
福岡県福岡市



蘭おかやま2004
平成16年5月1日(土)～5日(水)
岡山県岡山市



出展者紹介

(Participants)

鉢物・切花・外国出展審査

【宮城県】

岸野 哲也

【茨城県】

斉藤 正博
和田 洋
鈴木 脩司

【埼玉県】

竹上 敏江
上武産業株式会社
国分寺洋蘭園(有)

【東京都】

(株)大場蘭園
三好 勝彦
(株)東京オキナワナセー
黒澤 敏行

【神奈川県】

山崎 良雄
大津 豊隆
大島 悦夫
高橋 眞澄
千葉 宏之
石川 晴夫
中島 文子
金澤 均
石川 豊
岸 美枝子
重田 悦子
重田 裕充
川本 広
石井 春枝
稲嶺 希
稲嶺 盛昭
内藤 実
永井 清
和田 邦夫
羽田 啓子
松本 千恵子
村上 旭
水戸 景之

【長野県】

北島 やい子
新井 郁子
松澤 芳美
牧 久雄
綿貫 芳文
栗野原 潤
若林 光男
市川 栄子
宮澤 脩

【愛知県】

岡田 浩和
斎藤 熊三
飯田 秀孝
(財)名古屋市の協会の館 ランの館

【滋賀県】

竹島 彌二
久保田 慶子
久保田 貞雄
川瀬 昇作

【京都府】

森 郁子
澤井 公和
水山 裕司
岡村 満則
吉岡 重子

【大阪府】

神原 隆一
勝元 芳幸
別所 和敏
松尾 寛治

【兵庫県】

松本 法子
中村 一仁
下森 武夫
守本 佳子
守本 日吉
牧田 夏雄
松原 陽子
北瀬 哲子
原田 英美
横島 文子
佐々木 久美子
佐々木 道広
瀧口 邦雄
内田 瞭子
西村 栄子

【奈良県】

川辺 佳津子

【和歌山県】

山下 誠一郎
森脇 清文
浦 忠雄
吉川 俊恵
保田 茂夫
小坂 征夫
瀬戸内海洋蘭園

【岡山県】

塩飽 洋太郎
倉橋 定男
児子 哲夫
小林 高樹
藤 広治
太田 のり子
南本 修二
松本 一
松下 久美子
八木 楠夫
八木 博久
川 ちずか
藤井 俊之

【広島県】

清水 昭一
広島市植物公園
川上 千寿子
松岡 勝則
小野 章
前藤 文二
前藤 宜弘
龜山 本弘

福井 中庸
広井 正
寺岡 育男
住吉 秀文
小林 幹弥
宗田 利通
柳本 昇

【山口県】

有馬 千鶴子
井上 圭子
片山 郁夫
藤田 一夫
井上 信世
木下 恭子
松村 さよみ
桜谷 孝子
萩原 幸夫
福谷 郁子
藤井 妙子
高橋 茂美
岩本 秀夫
斉藤 孝子

【香川県】

山下 和孝
四国・大場ラン園
大場 和夫
長尾 弘子
藤本 友弥
上原 良樹

【徳島県】

(株)河野メリクロン

【愛媛県】

黒田 ヨシ子
平山 博愛
松井 博

【福岡県】

有吉 円満子
堀 博子
安河内 徳枝
石橋 サダ子
藤木 洋子
仲村 美津子
山崎 みえ子
小野 妙子
前田 裕子
阿部 孝代
坂本 和子
山田 美代子
平野 和子
生田 茂
山岡 桂一
山岡 基
齋藤 雅徳
藤 英俊
久保 蓉子
戸島 笑子
石橋 エミ子
毛利 和子
藤野 淑子

藤野 良喜
石松 久芳
南 寿美子
小田 豊明
伊藤 清水
高橋 淳
山下農園

【大分県】

菅 ミサオ
安長蘭園
堀尾 文子
清水 徳子
前田 巳喜雄
吉田 洋子
永浴 安彦
田辺 豊茂

【沖縄県】

宮里 春美
宮里 徳正
川上 かおり
宮城 喜盛
具志堅 敏子
崎浜 清子
花城 可保
花城 明子
安慶名 一郎
宮城 トミ子
宮城 裕明
島袋 勝典
島袋 清美
渡名 喜元
宮城 り子
仲眞 美由紀
知念 美代子
当山 スミ子
前田 京子
高嶺 正邦
棚原 由美子
棚原 良行
仲里 マサ子
仲里 幸助
村吉 安子
村吉 誠徳
仲村 由子
福里 恵美子
福里 正市
福里 栄一
本永 眞松
宮城 眞英
嶺井 テツ子
嶺井 行吉
島袋 哲行
久田 悦子
長嶺 由直
新垣 勝信
兼城 賢一
名嘉真 宜英
名嘉真 勉
徳田 米蔵
具志堅 栄真
奥間 政正
長嶺 由守
幸喜 弘
伊山 トミ子
山田 義治



崎上 拓夢
 棚原 憲彦
 大兼久 明
 諸喜田 富士子
 (有)仲里園芸
 新垣 園子
 有限会社 新垣洋蘭園
 山城 喜光
 山城 和子
 山城 一也
 小波津 国子
 小波津 正雄
 新里 昌重
 新里 典子
 宮城 昌直
 宮城 由夏
 与那嶺 勲
 粟盛 邦彦
 平地 ますみ
 平地 正三
 宮良 都子
 宮良 祐次
 宮良 博文
 白間 トミ子
 伊波 秀喜
 伊波 洋子
 山城 信一
 ビオスの丘(有)らんの里 沖縄
 城間 恵子
 城間 正守
 宮城 浩三
 町田 繁
 町田 文子
 高志保園
 山内 力
 照屋 清健
 照屋 利美子
 渡嘉敷 通晃
 松永 清彦
 松永 裕子
 福地 恒夫
 徳本 行雄

島袋 正弘
 中村 幸裕
 小椋 茂雄
 饒平名 かおり
 饒平名 知育
 大城 幸一
 新垣 雄文
 伊佐 英仁
 伊佐 仁信
 安里 弘
 新垣 善一
 喜納 昌久
 知念 悦子
 上間 ふさ子
 玉城 昌伸
 仲宗根 正昇
 松田 明美
 前原 信雄
 大城 千鶴枝
 仲宗根 和明
 山本 良文
 金城 達広
 大城 雪美
 平安山 良勝
 山川 宗賢
 新里 笹子
 花ばたけハウス
 玉城 洋子
 知念 良光
 仲本 善宜
 藤村 千代
 内原 英吉
 上原 めぐみ
 多和田 雪子
 宮城 ヒロ子
 玉城 詠光
 宮城 秀夫
 仲眞 米子
 仲眞 良夫
 伊芸 美美子

【タイ】

Mr. Saud Hamed Mohamed Al-zawani
 The Royal Horticultural Society of Thailand
 Miss. Suwannaa Techachareonsukchila
 Mr. Masaru Shioya
 S. ORCHID CO.,LTD
 Mr. Tongdang Rodsawat
 Mr. Chom Boonyam
 Mrs. Somsri Boonyam
 The Orchid Society of Thailand
 Miss. Suwannee Techahcareonsukchila
 Miss. Jutharat Techahcareonsukchila
 Mr. Preecha Techahcareonsukchila
 Mrs. Kamonthip Techahcareonsukchila
 Miss. Auncharie Techahcareonsukchila
 Mr. Pairat Techachareonsukchila
 Mr. Pairote Techahcareonsukchila
 Mis. Kazuko IJjiri
 Mr. Viboon Subunjuy
 Mr. Yameen Ahmed

【フィリピン】

Mr. Kelvin Manubay

【マレーシア】

Malaysia Orchid Growers Association
 Mr. Cheah Wah Sang

【台湾】

Mr. Tin-Hsung Lee
 清華蘭園
 Mr. Long-Huei Chen
 Mr. Tine-Huang Chin



ディスプレイ審査

(有)嘉手納造園土木
 沖電開発(株)
 沖縄全日空リゾート(株)万座
 ビーチリゾート
 (有)宮里農園
 沖縄県立中部農林高等学校

琉宮城蝶々園
 西崎緑地開発
 ビオスの丘・(有)らんの里
 (株)沖縄緑建
 金秀グリーン開発株式会社
 (有)赤嶺総合造園

(株)琉商造園土木
 (株)桃源農園
 日本フラワーデザイナー
 協会沖縄県支部
 本部造園(株)
 沖縄熱帯植物管理(株)

沖縄県立北部農林高等学校
 (資)美樹園
 ナゴバイナッパルパーク・
 (株)名護バイン園
 (有)丸喜緑化
 (有)庭樹園

フラワーデザイン審査

飯室 宏治
 比嘉 ちあき
 宮城 哲也
 安慶名 卓也
 天願 博行
 澤岬 円
 貴子 貴子
 宮国 良子
 平良 弘子
 古堅 房子
 吉川 真紀子
 仲眞 豊
 前川 美和子
 前田 涼子
 島袋 佳奈子
 松川 正美
 鷺山 嗣人

福田 律子
 緒方 智子
 浅野 留美子
 本部 みさ子
 富本 薫
 赤嶺 彩子
 平安山 チエミ
 金城 みどり
 親泊 美希子
 新川 栄子
 仲西 乙子
 宮城 千明
 洲鎌 広明
 和田 マリ子
 島袋 幸枝
 仲田 るみ子
 佐喜真 ゆかり

比嘉 春恵
 阿波根 昌一
 高江洲 均
 高江洲 良枝
 島袋 つや子
 与那覇 恒子
 玉城 真喜子
 宮本 かおり
 仲村 和子
 金城 真理子
 村吉 しのぶ
 知花 竜
 上間 睦子
 迎里 一枝
 伊敷 満
 山里 勝子
 古倉 昭子

玉城 美雪
 神谷 繁伸
 新垣 弘美
 比嘉 秀夫
 飯室 輝美
 金城 淳子
 我那覇 笑
 新里 直幸
 垣花 寿子
 知念 悦子
 石川 清治
 阿波根 秀子
 伊藤 由里
 小川 初美
 金城 奈七子
 島袋 夏子
 金城 麻由美

比嘉 千恵美
 山内 昌吉
 屋良 朝彰

Introduction of Sponsors

協賛団体紹介

(順不同)

● 協 賛

日本蘭協会
全日本蘭協会
日本洋蘭農業協同組合
蘭友会
沖縄県蘭協会
沖縄県農業協同組合
沖縄県花卉園芸農業協同組合
(社)沖縄県造園建設業協会
(社)日本フラワーデザイン協会
(社)日本生花通信配達協会(JFTD)
(社)ランドスケープコンサルツ協会
(社)日本造園建設業協会
沖縄県緑化種苗協同組合
ANA 全日空 沖縄支店
(有)らんの里 沖縄
東京オーキッドナーセリー
日本航空(株)沖縄支店
CHINA AIRLINES
北部らん友会
広島洋らん協会
三浦市蘭友会
神戸蘭友会
福岡洋蘭愛好会

● 協賛金

沖縄電力(株)
琉球セメント(株)
オリオンビール(株)
沖縄明治乳業(株)
沖縄コカ・コーラボトリング(株)
グローバル企画印刷(株)
沖縄ポトラース株式会社

(株)琉球銀行
(株)沖縄銀行
大栄空輸(株)
(株)シンリュウ石油
カヌチャベイホテル&ヴィラズ
沖縄富士フィルム販売株式会社
(株)沖縄環境開発センター
沖縄熱帯植物管理(株)
本部造園株式会社
金秀グリーン開発(株)
(資)美樹園
(有)庭樹園
(社)沖縄建設弘済会
(有)沖縄エープライサービス
(株)富士土建
(株)屋部土建
ヤエックス
(有)山口建設
八重山興業(株)
(株)智光
ノーブルクリエーション
(株)コスモセブン
稲治・沖縄緑建経常建設共同企業体
箱根・桃原経常建設共同企業体
(株)リーバン
日産・嘉手納経常建設共同企業体
カローラタ(株)
(株)沖縄海邦銀行
内山・赤嶺経常建設共同企業体
健康科学財団
(有)丸良電建工業
(株)中部ユティリティ
(株)国建

本部グリーンパークホテル
ホテルマハイナ
ウェルネスリゾートオキナワ
(有)シーマ工業
うりずん(株) 琉宮城蝶々園
全日空ホテルズ(株) 沖縄
ロイヤルビューホテル
(株)名護パイン園
(株)森のガラス館
ホクサン商事
ナゴバラダイス
ゆいまーる沖縄
(株)フォーカート
(株)プロジェクト・コア
(資)アドプロ
那覇相互警備保障(株)
東洋企画印刷
(有)ピュアウインド
(有)アートコーヒー
荻冷凍食品
沖縄フルーツランド
琉球産経(株)
(株)加島事務機
(有)総合サプライ
(株)沖縄緑建
(有)嘉手納造園土木
(有)赤嶺総合造園
(有)巴恵造園土木
(株)沖縄庭芸
(有)西原農園
(株)南西造園土木
(有)久田緑化造園
(株)琉商造園土木

沖縄園芸(株)
(有)東緑化開発
(有)丸喜緑化
(株)仲嶺造園土木
(有)西崎緑地開発
(株)東海造園
(株)沖縄丸和
(有)おおとみ造園土木
(有)樹苑
(有)紫光園
(有)蓬光造園
北部造園土木(株)
(有)宮里農園
(有)北部園芸
(株)グリーンテックトータル
(有)美里緑化センター
(株)沖縄総合グリーン造園
(有)ナカムラ造園土木
沖縄中部緑化(株)
平宮産業(株)
(有)桂植木
(株)がきや興産

沖縄国際洋蘭博覧会2004

■ 出展者数・出展ラン及び展示総数 ■

	鉢物審査の部		切花審査の部		外国出展審査の部				ディスプレイ審査の部			フラワーデザイン審査の部				総合計				
					鉢物		切花													
	出展者数 (人)	出展数 (株)	出展者数 (人)	出展数 (10本1組 本)	出展者数 (人)	出展数 (株)	出展者数 (人)	出展数 (10本1組 本)	出展 団体数	出展内容 鉢物(株)	出展内容 切花(本)	総合デザイン 出展者数 (人)	総合デザイン 出展点数 (切花) (本)	アレンジメント 出展者数 (人)	アレンジメント 出展点数 (切花) (本)	ニューブーケ 出展者数 (人)	ニューブーケ 出展点数 (切花) (本)	出展者数 (人)	鉢物 (株)	切花 (本)
外国 (3カ国 1地域)	-	-	-	-	23	1,145	3	730	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	1,145	730
県外 (22都府県)	172	432	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	172	432	0
県内 (22市町村)	113	402	21	250	-	-	-	-	21	2,600	520	13	518	30	507	32	601	230	3,002	2,396
合計	285	834	21	250	23	1,145	3	730	21	2,600	520	13	518	30	507	32	601	428	4,579	3,126
公園展示 ラン合計																			2,500	-





ANAは、 沖縄を応援します。

いままでも。そして これからも。



国内線のご予約、お問い合わせは、フリーダイヤル ☎0120-029-222
 国際線のご予約、お問い合わせは、フリーダイヤル ☎0120-029-333
 または、お近くの全日空代理店まで。
 ANAホームページ <http://www.ana.co.jp/>



地球とともに、地域のために
沖縄電力

沖縄電力は
 人と地球にやさしい
 環境づくりに
 とりくんでいきます。



ふれあい、いきいき。
 環境を大切に。
 地球を愛する。

〒901-2602 沖縄県浦添市牧港五丁目2番1号 TEL.098-877-2341 <http://www.okiden.co.jp/>

郷土の資源で



郷土をつくる

琉球セメント株式会社

ふれあい、いきいき。

Orion
 オリオンビール

MEIJI

県民の健康と生活文化の創造に貢献する

沖縄明治乳業株式会社

〒901-2502 浦添市牧港1-65-1 TEL098-877-5274



沖縄 コカ・コーラ ボトリング 株式会社
 OKINAWA COCA-COLA BOTTLING CO.,LTD. (コカ・コーラ指定会社)



沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会
〒905-0206 沖縄県本部町字石川424番地